

平成30年度事業の取組重点

～交通事故のない安全な社会の実現をめざして・第10次石川県交通安全計画に掲げる数値目標(欄外※1)の達成～

重点項目	実施項目	実施細目
1 交通安全思想の普及啓発	(1)交通安全県民大会の開催	○県・警察・安管と共催により11月(予定)に開催
	(2)交通安全運動の共催	○ポスター、街頭キャンペーン、各種メディアの活用等により運転者・歩行者の交通マナーアップを展開
	(3)交通マナーアップ運動(欄外※2)の推進	○(委託)更新・処分講習等事業における啓発講習 ○「県安全運転研修所」における啓発研修 ○資料配布・キャンペーン等による広報啓発活動
	(4)事故多発時・路線の緊急安全対策の推進	○警察・道路管理者等と連携した緊急安全対策
2 高齢者と子供の事故防止	(1)高齢運転者対策の推進	○「ぱっちい〜号2世」を活用した参加・体験型の出前教育 ○運転シミュレーター、ドライブレコーダーを活用した出前教育 ○(委託)高齢者講習事業における啓発講習 ○「県安全運転研修所」等を利用したリフレッシュ研修 ○団体・地域ぐるみの高齢者無事故無違反運動 ○高齢免許自主返納者に対する支援活動 ○高齢運転者標識の表示促進活動
	(2)歩行者対策(高齢者・子供)の推進	○高齢者宅訪問による個別指導と反射材の直接貼付活動 ○「ぱっちい〜号2世」を活用した参加・体験型の出前教育 ○三世代(子・親・祖父母)交通安全交流活動 ○園児等に基本的な交通ルールを体得させる交通安全教室 ○子供と高齢者を守る街頭指導(推進隊・地活推進委員と連携)
	(3)電動車いすの正しい利用の推進	○電動車いすの正しい利用に関する広報・啓発、指導活動
3 夜間の事故防止	(1)反射材の普及(着用)促進	○有効性の広報啓発(寸劇・展示会・広報紙等)と直接貼付活動
	(2)街頭指導・啓発活動の推進	○子供と高齢者の保護・誘導活動(出動・活動支援) ○街頭監視による運転者に自覚を促す活動(出動・活動支援)
	(3)ライトで照らせ「かがやき」運動の推進	○早めのライト点灯、ハイビームの上手な活用の周知徹底、反射材用品の着用等
4 自転車利用者の事故防止	(1)自転車の安全利用の推進	○「自転車安全利用五則(欄外※3)」の周知徹底 ○自転車運転者講習制度の周知徹底 ○街頭における交通安全指導・啓発活動(出動・活動支援)
	(2)正しい乗り方の安全教育の推進	○参加・体験型の交通安全教室の開催 ○子供・高齢者対象の交通安全自転車大会の開催 ○推進隊・地活推進委員、高校生の交通安全組織との連携指導
	(3)自転車の点検整備と保険加入の推進	○自転車整備士と連携した点検整備、自転車保険加入の促進 ○自転車用反射材の普及
5 飲酒運転の根絶	飲酒運転根絶の規範意識の確立	○悪質・危険性の周知徹底(各種講習・広報紙・ホームページ等) ○地域・職場における根絶運動(根絶宣言・ポスター掲示等) ○「石川版ハンドルキーパー運動」(飲食店組合等と連携)
6 被害軽減対策	シートベルト・チャイルドシート着用の推進	○非着用の危険性と着用による被害軽減効果の周知徹底 ○シートベルト衝撃体験車の貸出しによる着用効果の体験講習 ○チャイルドシートの正しい使用の指導・啓発活動
7 安全協会員の獲得活動	(1)協会活動に理解と協力を求める活動の推進	○会費が地域の交通安全に役立っていることの周知徹底 ○窓口での良好な応接マナーと積極的な勧誘
	(2)会員特典の充実	○優良運転者の表彰(漏れのない該当者の把握) ○貸出し用交通安全ビデオ・DVDの充実、免許証ケース(安全運転便利帳入り)の交付

※1 第10次石川県交通安全計画に掲げる数値目標

「平成32年までに、死者数40人以下、死傷者数3,400人以下とする。」※死者数は29年に達成(34人)

※2 交通マナーアップ運動

- 「歩行者を早く見つけて守る運転」運転中の脇見・携帯電話等の使用禁止、しっかり前を見て歩行者を守る運転
- ライトで照らせ「かがやき運動」早めのライト点灯(3～5月は午後5時～、6～8月は午後6時～、9～2月は午後4時～)とハイビームの上手な活用
- 「早めの合図30・3(サンマル・サン)運動」早めの合図でゆとり・ゆずりあい運転(右左折時は30メートル手前、進路変更時は3秒前から)
- 「スピードダウン1・2・3運動」ゆとり・安全運転(1割のスピードダウン・2倍の注意力・3分早めの出発)

※3 自転車安全利用五則

- 自転車は、車道が原則、歩道は例外 ○車道は左側を通行 ○歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行 ○子どもはヘルメットを着用
- 安全ルールを守る(飲酒運転・二人乗り・並進の禁止、夜間はライトを点灯、交差点での信号遵守と一時停止・安全確認)